

第5 教育職員免許状の取得

I 教員免許状の種類・教科

所定の単位を修得することにより、次表のとおり教育職員免許状授与の所要資格を取得することができます。

学 科	専 攻	グループ	免許状の種類・教科
国際地域学科	地域協働専攻	国際協働グループ	中学校教諭 1種免許状 (国語)
			高等学校教諭 1種免許状 (国語)
			中学校教諭 1種免許状 (英語)
			高等学校教諭 1種免許状 (英語)
		地域政策グループ	中学校教諭 1種免許状 (社会)
			高等学校教諭 1種免許状 (公民)
	地域環境科学グループ	中学校教諭 1種免許状 (数学)	
		高等学校教諭 1種免許状 (数学)	
		中学校教諭 1種免許状 (理科)	
		高等学校教諭 1種免許状 (理科)	
地域教育専攻	小学校教諭 1種免許状		
	幼稚園教諭 1種免許状		
	特別支援学校教諭 1種免許状		
	(知的障害者に関する教育の領域)		

※地域協働専攻では、中学校および高等学校の同一教科のみ免許状を取得することができます。

なお、高等学校教諭 (公民) と中学校教諭 (社会) は、併せて取得することができます。

※地域協働専攻の学生は、小学校・特別支援学校・幼稚園に関する免許を取得できません。

II 教員免許状の取得に必要な授業科目及び修得単位数

教員免許状の取得に必要な授業科目及び修得単位数は、別表「教育職員免許状取得科目対応表」に示すとおりです。この表に定めるところにより単位を修得してください。

本対応表は、教育職員免許法及び同施行規則に定める教員免許状の取得に必要な科目・単位数に対応する函館校で開設する授業科目・修得単位数を示すものです。

なお、函館校での各授業科目の開設形態・単位数の設定等の関係から、教育職員免許法に定める単位数を超えて修得しなければならないものがあるので留意してください。

免許状の種類 免許区分	小学校	幼稚園	中学校	高等学校	特別支援学校
教科 (領域) 及び教科 (保育内容) の指導法に関する科目	P. 42	P. 42	国 語 P. 43 社 会 P. 43 数 学 P. 44 理 科 P. 45 英 語 P. 45	国 語 P. 43 公 民 P. 44 数 学 P. 44 理 科 P. 45 英 語 P. 45	
教育の基礎的理解に関する科目等	P. 46	P. 47	P. 48		
大学が独自に設定する科目	P. 49				
教育職員免許法施行規則第66条の6に定められた科目	P. 50				
特別支援教育に関する科目					P. 51

III 教育実践力向上CBT検定

教育実践力向上CBT (Computer Based Testing) 検定は、教育実習をより実効あるものとするため、基礎的な知識の理解や心構えを客観的に測定し、教育実習に向けた準備をサポートする目的で実施するものです。

教育実践力向上CBT検定は、教育実習の履修要件となっています。実施日程等については、別途指示がありますので、指示に従って受検してください。

IV 教育実習について

受講するには、教育実習ガイダンスへの出席と教育実習事前事後指導の受講が必要です。実施については、掲示等でお知らせします。

教育実習の実施時期・受講方法については、教育実習ガイダンスにてお知らせしますので、必ず受講してください。

地域協働専攻において、教員免許状の取得は卒業要件ではありませんので、取得希望者のみが教育実習並びに教育実習事前事後指導を受講してください。

事前に教職に関わる学生の意欲や適性の厳正な審査を行い、適当ではないと判断される者には受講を認めません。

専攻	免許種	2年次	3年次		4年次
地域協働専攻 (3グループ共通)	中学校教諭免許状	基礎実習(中等) 1 ※2	教育実習事前事後 指導(中等) 1	教育実習 (中学校) 4	
	中学校・ 高等学校教諭免許状	介護等体験実習 0			
	高等学校教諭免許状				教育実習(高等学校) 2
地域教育専攻	小学校教諭免許状※1	基礎実習(初等) 1	教育実習事前事後 指導(初等) 1	教育実習 (小学校) 4	
	幼稚園教諭免許状	介護等体験実習 0			教育実習(幼稚園) 2 ※事前事後指導を含む
	特別支援教諭免許状				特別支援教育実習 3 ※事前事後指導を含む

※1 地域教育専攻の小学校教諭免許状における、教育実習事前事後指導(初等)及び教育実習(小学校)は履修基準上の必修科目です。

※2 基礎実習(中等)は選択科目です。

受講要件

1. 教育実習(小学校)

(1) 実習を行う前年度後期終了時まで、「基礎実習(初等)」1科目1単位、「発達と学習(初等)」、「教育の基礎と理念(初等)」、「教育の制度・経営と社会(初等)」から2科目4単位を含め、61単位以上修得してください。

(2) 実習を行う前年度後期終了時まで、「教科(領域)及び教科(保育内容)の指導法に関する科目」のうち「各教科の指導法(情報機器及び機材の活用を含む。)」から4科目8単位、「教科に関する専門的事項」から2科目4単位、計12単位を修得してください。

(3) 教育実践力向上CBT検定を受検し、一定の基準に達していること。

2. 特別支援教育実習

実習を行う前年度後期終了まで、「特別支援教育基礎論」、「知的障害教育課程論」及び「知的障害児の心理・生理・病理」の3科目6単位を含め、60単位以上修得してください。

3. 教育実習(幼稚園)

実習を行う前年度後期終了まで、「幼児理解と教育相談」の1科目2単位、保育内容の指導法に関する科目の中から4科目8単位、計10単位を含め、60単位以上修得してください。

ただし、実習受入園に限りがあるため、受講者が多い場合、選考により受講者を決定します。

4. 教育実習(中学校)、教育実習(高等学校)

(1) 実習を行う前年度後期終了まで「教育の基礎と理念(中等)」、「教育課程と教育方法(ICT活用含む)(中等)」、「教育の制度・経営と社会(中等)」のいずれか1科目2単位を含め、80単位以上修得してください。

(2) 実習を行う前年度後期終了まで、教育実習を希望する教科及び学校種に関わる「教科(領域)及び教科(保育内容)の指導法に関する科目」のうち「各教科の指導法(情報機器及び機材の活用を含む。)」1科目2単位を修得してください。

(3) 教育実践力向上CBT検定を受検し、一定の基準に達していること。

注「教育実習(小学校)(4単位)」を履修した者が特別支援学校教諭免許状を取得する場合は、「特別支援教育実習」の3単位が必要になります。ただし、実習受入校に限りがあるため、受講者が多い場合は、選考により受講者を決定します。

V 介護等体験実習について（原則2年次に受講）

小学校及び中学校教諭免許状の授与を受けるにあたっては、所定の単位を修得する他に、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（介護等体験特例法）」により、障害者、高齢者等に対する介護、介助、交流等の体験を目的とした特別支援学校及び社会福祉施設等における7日間（特別支援学校：2日間、社会福祉施設：5日間）の介護等体験実習を行う必要がありますので、小学校及び中学校教諭免許状取得希望者は、介護等体験ガイダンスに出席してください。なお、実習申込みやガイダンス、事前指導等については、掲示等でお知らせしますので、必ず確認するようにしてください。

（参考）例年の実習スケジュール（年度により、変更となる可能性があります。）

（1年次）

- ・介護等体験実習の事前ガイダンスならびに申込

（2年次）

- ・4月：実習費用の支払い（社会福祉施設のみ、1人1万円）
- ・5～7月：事前指導
特別支援学校における介護等体験実習（2日間）
- ・7月以降：社会福祉施設における介護等体験実習（5日間）

教育職員免許状取得科目対応表

この表で、「法定単位」とは、教育職員免許法等で法令で定められた単位数で、参考に示しています。「必要単位」とは、函館校で当該免許を取得するのに必要な単位数です。

1 教科（領域）及び教科（保育内容）の指導法に関する科目

（1）小 学 校

（科目名の前の「○」は免許必修科目を表す。）

免 許 科 目	免 許 科 目	函館校で開設する授業科目・単位数	小2種免		小1種免	
			法定単位	必要単位	法定単位	必要単位
教科に関する専門的事項	国語(書写を含む。)	○初等国語 2	16	2	30	2
	社 会	○初等社会 2		2		2
	算 数	○初等算数 2		2		2
	理 科	初等理科 2				
	外 国 語	○初等外国語 2		2		2
	生 活	初等生活 2				
	音 楽	初等音楽 2				
	図 画 工 作	初等図画工作 2				
	家 庭	初等家庭 2				
	体 育	○初等体育 2		2		2
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	国語(書写を含む。)	○初等国語科教育法 2	2	2		
	社 会	○初等社会科教育法 2	2	2		
	算 数	○初等算数科教育法 2	2	2		
	理 科	○初等理科教育法 2	2	2		
	外 国 語	○初等外国語科教育法 2	2	2		
	生 活	○初等生活科教育法 2	2	2		
	音 楽	○初等音楽科教育法 2	2	2		
	図 画 工 作	○初等図画工作科教育法 2	2	2		
	家 庭	○初等家庭科教育法 2	2	2		
体 育	○初等体育科教育法 2	2	2			
計			16	30	30	30

（2）幼 稚 園

免 許 科 目	免 許 科 目	函館校で開設する授業科目・単位数	幼2種免		幼1種免	
			法定単位	必要単位	法定単位	必要単位
領域に関する専門的事項	健 康	幼児と健康 1	12	1	16	1
	人 間 関 係	幼児と人間関係 1				
	環 境	幼児と環境 1				
	言 葉	幼児と言葉 1				
	表 現	幼児と表現 1				
保育内容の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		○保育内容指導法（健康） 2	2	2		
		○保育内容指導法（人間関係） 2	2	2		
		○保育内容指導法（環境） 2	2	2		
		○保育内容指導法（言葉） 2	2	2		
		○保育内容指導法（表現Ⅰ） 2	2	2		
		○保育内容指導法（表現Ⅱ） 2		2		
		○保育内容総論 1	1	1		
計			12	12	16	16

(3) 中学校・高等学校

(科目名の前の「○」は免許必修科目を、「△」は免許選択必修科目を表す。以下、併せて「必修科目」という。)

国語(中・高)

免許科目	免許科目	函館校で開設する授業科目・単位数	中2種免		中1種免		高1種免	
			法定単位	必要単位	法定単位	必要単位	法定単位	必要単位
教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○国語表現	2	2		2		2
		国際協働概論Ⅱ (日本語学概論)	2					
		日本語文法論	2					
	国文学 (国文学史を含む。)	○日本文学概論Ⅰ (文学史を含む)	2	2		2		2
		日本文学概論Ⅱ	2					
		古典文学講読Ⅰ	2					
		古典文学講読Ⅱ	2					
		古典文学演習Ⅰ	2					
		古典文学演習Ⅱ	2					
		近代文学講読Ⅰ	2					
近代文学演習Ⅰ		2						
近代文学演習Ⅱ		2						
日本の詩歌Ⅰ		2						
日本の詩歌Ⅱ	2							
日本の言語表象文化	2							
漢文学	○漢文学概論Ⅰ	2	2		2		2	
	漢文学概論Ⅱ	2						
書道 (書写を中心とする。)	○書法Ⅰ	2	2		2			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○中等国語科教育法Ⅰ	2	いずれかを選択必修	2	2			
	○中等国語科教育法Ⅱ	2		2				
	○中等国語科教育法Ⅲ	2		2		2		
	○中等国語科教育法Ⅳ	2		2		2		
計			12	12	28	28	24	24

注) 網掛け部分は、当該免許の修得単位数に含むことができません。

社会(中)

免許科目	免許科目	函館校で開設する授業科目・単位数	中2種免		中1種免		
			法定単位	必要単位	法定単位	必要単位	
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○歴史学概論	2	2		2	
		日本文化史	2				
		西洋社会思想史	2				
	地理学 (地誌を含む。)	○地理学概論 (地誌を含む)	2	2		2	
		比較地域学	2				
		地域文化論	2				
	「法学、政治学」	△法学概論	2	}	2	}	2
		△政治学概論	2				
		西洋政治思想史	2				
		行政法	2				
「社会学、経済学」	△社会学概論	2	}	2	}	2	
	△経済学概論	2					
	応用社会学	2					
	家族社会学	2					
	地域経済学	2					
	経済開発論	2					
	環境経済学	2					
地域政策概論Ⅴ (社会福祉原論Ⅰ)	2						
社会福祉原論Ⅱ	2						
「哲学、倫理学、宗教学」	△公共性の哲学	2	}	2	}	2	
	△哲学概論	2					
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○中等社会科教育法Ⅰ (地理歴史)	2	いずれかを選択必修	2	2		
	○中等社会科教育法Ⅱ (地理歴史)	2			2		
	○中等社会科教育法Ⅲ (公民)	2			2		
	○中等社会科教育法Ⅳ (公民)	2			2		
計			12	12	28	28	

注) 網掛け部分は、当該免許の修得単位数に含むことができません。

公民(高)

免許科目	免許科目	函館校で開設する授業科目・単位数	高1種免		
			法定単位	必要単位	
教科に関する専門的事項	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	△法学概論	2	2	必修・選択必修により修得した科目と併せて24単位を修得
		△政治学概論	2		
		西洋政治思想史	2		
		行政法	2		
近代交通思想史		2			
△社会学概論	2	2			
△経済学概論	2				
応用社会学	2				
家族社会学	2				
地域経済学	2				
「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	2	2			
経済開発論	2				
環境経済学	2				
地域政策概論Ⅴ(社会福祉原論Ⅰ)	2	2			
社会福祉原論Ⅱ	2				
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	△公共性の哲学	2	2		
△哲学概論	2				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○中等社会科教育法Ⅲ(公民)	2	2		
	○中等社会科教育法Ⅳ(公民)	2	2		
	計	24	24		

数学(中・高)

免許科目	免許科目	函館校で開設する授業科目・単位数	中2種免		中1種免		高1種免					
			法定単位	必要単位	法定単位	必要単位	法定単位	必要単位				
教科に関する専門的事項	代数学	○数学入門(代数学)	2	2	28	2	24	2				
		代数学基礎	2									
		代数学演習	2									
		代数学Ⅰ	2									
		代数学Ⅱ	2									
		代数学Ⅲ	2									
	幾何学	○数学入門(幾何学)	2						2	2	2	2
		幾何学基礎	2									
		幾何学Ⅰ	2									
		幾何学Ⅱ	2									
解析学	○数学入門(解析学)	2	2	2	2	2						
	解析学基礎	2										
	解析学演習	2										
	解析学Ⅰ	2										
	解析学Ⅱ	2										
「確率論、統計学」	○数学入門(確率・統計)	2	2	2	2	2						
コンピュータ	○コンピュータⅠ	2										
		○コンピュータⅡ	2	2	2	2	2					
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○中等数学科教育法Ⅰ	2	2					2	2	2		
	○中等数学科教育法Ⅱ	2										
	○中等数学科教育法Ⅲ	2										
	○中等数学科教育法Ⅳ	2										
計			12	12	28	28	24	24				

注)網掛け部分は、当該免許の修得単位数に含むことができません。

理科(中・高)

免許科目	免許科目	函館校で開設する授業科目・単位数	中2種免		中1種免		高1種免							
			法定単位	必要単位	法定単位	必要単位	法定単位	必要単位						
教科に関する専門的事項	物理学	○基礎環境物理学 2 専門環境物理学Ⅰ(電磁気学) 2 専門環境物理学Ⅱ(量子力学) 2	12	2	28	2	2	2						
	化学	○地域環境科学概論Ⅶ(化学基礎) 2 基礎環境化学Ⅰ(基礎環境化学) 2 生体物質環境論 2 応用環境化学Ⅰ(物質科学) 2							2	2	2			
	生物学	○基礎生物学 2 生態学 2 地域環境生物学 2 保全生物学 2							2	2	2			
	地学	○地球科学基礎 1 地球環境基礎実習 2 地球環境史 2 地域環境科学概論Ⅲ(地球環境科学) 2							2	2	2			
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	○基礎環境物理学実験 2 発展環境物理学実験 2							2	2	2			
	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	○基礎環境化学実験 2 応用環境化学実験 2							2	2	2			
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	○生物学基礎実験 2							2	2	2			
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	○地球環境基礎実験 2 地球環境専門実験 2							2	2	2			
	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、 化学実験(コンピュータ活用を含む。)、 生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、 地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	△基礎環境物理学実験 2 発展環境物理学実験 2 △基礎環境化学実験 2 応用環境化学実験 2 △生物学基礎実験 2 △地球環境基礎実験 2 地球環境専門実験 2										2 2 2 2		
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○中等理科教育法Ⅰ 2 ○中等理科教育法Ⅱ 2 ○中等理科教育法Ⅲ 2 ○中等理科教育法Ⅳ 2							2	2	2 2 2 2	2 2		
	計								12	12	28	28	24	24

注)網掛け部分は、当該免許の修得単位数に含むことができません。

英語(中・高)

免許科目	免許科目	函館校で開設する授業科目・単位数	中2種免		中1種免		高1種免							
			法定単位	必要単位	法定単位	必要単位	法定単位	必要単位						
教科に関する専門的事項	英語学	○英語学概論Ⅰ 2 ○英語学概論Ⅱ 2 英語学演習Ⅰ 2 対照言語学 2 英語語法研究 2 社会言語学 2	12	2	28	2	2	2						
	英語文学	○人文科学入門Ⅰ(英語文学概論Ⅰ) 2 ○国際協働概論Ⅴ(英語文学概論Ⅱ) 2 英語文学演習Ⅰ 2							2	2	2			
	英語コミュニケーション	○Intercultural Communication 2 ○Advanced Listening & Reading Presentation 2 Advanced Writing 2 Speaking & Listening II 2 Reading & Writing II 2							2	2	2			
	異文化理解	○異文化理解Ⅰ 2 異文化理解Ⅱ 2 映像文化論 2							2	2	2			
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○中等英語科教育法Ⅰ 2 ○中等英語科教育法Ⅱ 2 ○中等英語科教育法Ⅲ 2 ○中等英語科教育法Ⅳ 2							2	2	2 2 2 2	2 2		
	計								12	12	28	28	24	24

注)網掛け部分は、当該免許の修得単位数に含むことができません。

2 教育の基礎的理解に関する科目等（小学校）

（科目名の前の「○」は免許必修科目を、「△」は免許選択必修科目を表す。以下、併せて「必修科目」という。）

科目区分	左項の各科目に含めることが必要な事項	函館校で開設する授業科目・単位数	小2種免		小1種免	
			法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位
教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	○教職論（初等） 2	6	2	10	2
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育の基礎と理念（初等） 2		2		2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○発達と学習（初等） 2		2		2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	○教育の制度・経営と社会（初等） 2		2		2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育（初等） 2		2		2
及道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する指導科目	道徳の理論及び指導法	○道徳の理論と指導法（初等） 2	6	2	10	2
	総合的な学習の時間の指導法	○特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法（初等） 2		2		2
	特別活動の指導法			2		2
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育課程と教育方法（ICT活用含む）（初等） 2		2		2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			2		2
	生徒指導の理論及び方法	○生徒指導・進路指導の理論と方法（初等） 2		2		2
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	○教育相談の理論と方法（初等） 2	2	2			
実践教育に関する科目	教職実践演習	○教職実践演習（幼・小） 2	2	2	2	2
	教育実習（事前及び事後の指導の1単位を含む。）	（別頁の教育実習の欄を参照すること）	5	6	5	6
計			19	28	27	28

3 教育の基礎的理解に関する科目等（幼稚園）

（科目名の前の「○」は免許必修科目を、「△」は免許選択必修科目を表す。以下、併せて「必修科目」という。）

科目区分	左項の各科目に含めることが必要な事項	函館校で開設する授業科目・単位数	幼2種免		幼1種免	
			法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位
教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	○教職論（初等） 2	6	2	10	2
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育の基礎と理念（初等） 2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○発達と学習（初等） 2				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	○教育の制度・経営と社会（初等） 2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育（初等） 2				
に導、導習道徳、法及時的、教及び間、育相生等、談徒的、等指指学 に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育課程と教育方法（幼児） 2	4	4	4	4
	幼児理解の理論及び方法	○幼児理解と教育相談 2				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法					
す践教 目に育 科関実	教職実践演習	○教職実践演習（幼・小） 2	2	2	2	2
	教育実習（事前及び事後の指導の1単位を含む。）	（別頁の教育実習の欄を参照すること）	5	7	5	7
計			17	23	21	23

4 教育の基礎的理解に関する科目等（中学校・高等学校）

（科目名の前の「○」は免許必修科目を、「△」は免許選択必修科目を表す。）

科目区分	左項の各科目に含めることが必要な事項	函館校で開設する授業科目・単位数	中2種免		中1種免		高1種免	
			法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位
教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	○教職論（中等） 2		2		2		2
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育の基礎と理念（中等） 2		2		2		2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○発達と学習（中等） 2	6	2	10	2	10	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	○教育の制度・経営と社会（中等） 2		2		2		2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育（中等） 2		2		2		2
及道徳、生徒総合的、な学習の時間等に等しい指導法	道徳の理論及び指導法	○道徳の理論と指導法（中等） 2		2		2		
	総合的な探求の時間の指導法	○特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法（中等） 2		2		2		2
	特別活動の指導法							
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育課程と教育方法（ICT活用含む）（中等） 2		2		2		2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		6		10		8	
	生徒指導の理論及び方法	○生徒指導・進路指導の理論と方法（中等） 2		2		2		2
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	○教育相談の理論と方法（中等） 2		2		2		2	
実践科目に育関実	教職実践演習	○教職実践演習（中・高） 2	2	2	2	2	2	2
	教育実習（事前及び事後の指導の1単位を含む。）	（別頁の教育実習の欄を参照すること）	5	5	5	5	3	3
計			19	27	27	27	23	23

注1) 網掛け部分は、当該免許の修得単位数に含むことができません。

5 大学が独自に設定する科目

科目区分	函館校で開設する授業科目・単位数	幼2種免		幼1種免		小2種免		小1種免		中2種免		中1種免		高1種免	
		法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位
教科（領域）及び教科（保育内容）の指導法に関する科目	最低修得単位を越えて取得した「教科（領域）及び教科（保育内容）の指導法に関する科目」の単位														
教育の基礎的理解に関する科目等	最低修得単位を越えて取得した「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位														
大学が独自に設定した科目	道徳の理論と指導法（中等）	2													
	学校臨床心理学	2													
	日本の母語教育	2													
	ジェンダー論	2													
	フィールド研究Ⅰ（フレンドシップ）	2													
	フィールド研究Ⅱ（僻地・複式教育）	2													
	教育の社会学	2	2	14	2	2	4	4	12						
	子どもの教育の歴史Ⅰ	2													
	子どもと環境教育	2													
	国際理解教育	2													
	人間関係とコミュニケーション	2													
	発達障害総論	2													
	教育の哲学	2													
	精神保健学	2													
	地域プロジェクトⅠ	2													
	地域プロジェクトⅡ	2													
	へき地・複式教育論	2													
学校臨床研究	2														
幼児音楽	2														
計		2	2	14	14	2	2	2	2	4	4	4	4	12	12

注) 網掛け部分は、当該免許の修得単位数に含むことができません。

6 教育職員免許法施行規則第66条の6に定められた科目

免 許 科 目	函館校で開設する授業科目・単位数	幼2種免		幼1種免		小2種免		小1種免		中2種免		中1種免		高1種免	
		法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位	法定 単位	必要 単位
日本国憲法	○日本国憲法	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
体育	○体育Ⅰ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	○体育Ⅱ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
外国語コミュニケーション	○外国語コミュニケーション（英語）Ⅰ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	外国語コミュニケーション（英語）Ⅱ	1	い ず れ か 1 単 位 を 修 得	い ず れ か 1 単 位 を 修 得	い ず れ か 1 単 位 を 修 得	い ず れ か 1 単 位 を 修 得	い ず れ か 1 単 位 を 修 得	い ず れ か 1 単 位 を 修 得	い ず れ か 1 単 位 を 修 得	い ず れ か 1 単 位 を 修 得	い ず れ か 1 単 位 を 修 得	い ず れ か 1 単 位 を 修 得	い ず れ か 1 単 位 を 修 得	い ず れ か 1 単 位 を 修 得	い ず れ か 1 単 位 を 修 得
	外国語コミュニケーション（中国語）	1													
	外国語コミュニケーション（ドイツ語）	1													
	外国語コミュニケーション（フランス語）	1													
	外国語コミュニケーション（韓国・朝鮮語）	1													
外国語コミュニケーション（ロシア語）	1														
情報機器の操作	○情報機器の操作	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	計	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

注)免許種に関わらず、各科目の必要単位を取得すること。

7 特別支援教育に関する科目(特別支援学校)

免 許 科 目		函館校で開設する授業科目・単位数	特支2種免		特支1種免					
			法定単位	必要単位	法定単位	必要単位				
特別支援教育の基礎理論に関する科目		○特別支援教育基礎論	2	2	2	2				
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	○知的障害児の心理・生理・病理	2	2	16	2				
		○障害児心理アセスメント	2	2		2				
		障害児心理演習Ⅰ	1	8		必修により修得した科目と併せて 8単位を修得	必修により修得した科目と併せて 16単位を修得			
		障害児心理演習Ⅱ	1							
		障害児個別臨床Ⅰ	2							
		障害児個別臨床Ⅱ	2							
		障害児個別臨床Ⅲ	2							
		障害児個別臨床Ⅳ	2							
		障害児地域支援臨床Ⅰ	2							
	障害児地域支援臨床Ⅱ	2								
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	○知的障害教育課程論	2					2	2	
		○障害児教育指導法	2					2	2	
		知的障害教育演習Ⅰ	1					8	必修により修得した科目と併せて 8単位を修得	必修により修得した科目と併せて 16単位を修得
		知的障害教育演習Ⅱ	1							
知的障害教育実践演習Ⅰ		1								
知的障害教育実践演習Ⅱ	1									
知的障害教育実践演習Ⅱ	1									
免許状に定められることとなる特別支援領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	○重複障害教育総論	2	2	5	2				
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	○障害児心理入門	2	2			2			
		○発達障害児指導法入門	2	2				2		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		○特別支援教育実習	3	3	3	3				
計			16	17	26	27				

注)基礎資格として、小学校の免許状が必要である。